

# MATLAB® SIMULINK®を利用してロボットコンテストに挑戦中

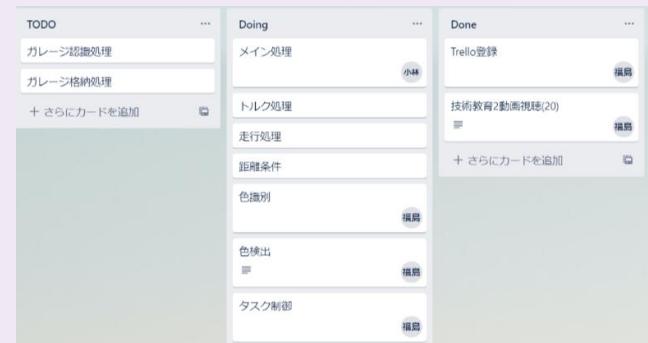


学校法人 岩崎学園 情報科学専門学校

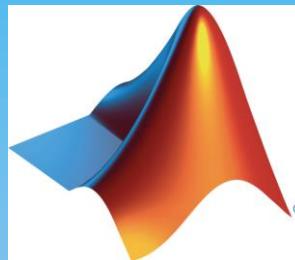
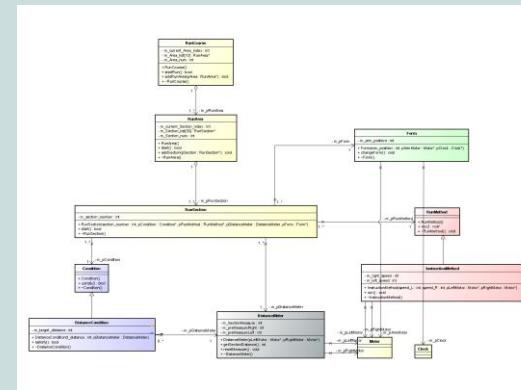
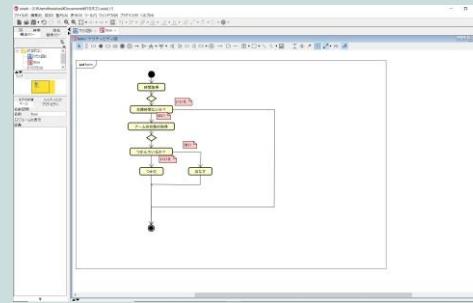
リーダー：情報セキュリティ学科 3年 佐藤克洋、情報セキュリティ学科 3年 畑野正樹

副リーダー：実践IoT学科 2年 中村拓、情報セキュリティ学科 1年 小林佑紀哉

進捗監理：アジャイル方式で利用に挑戦！！

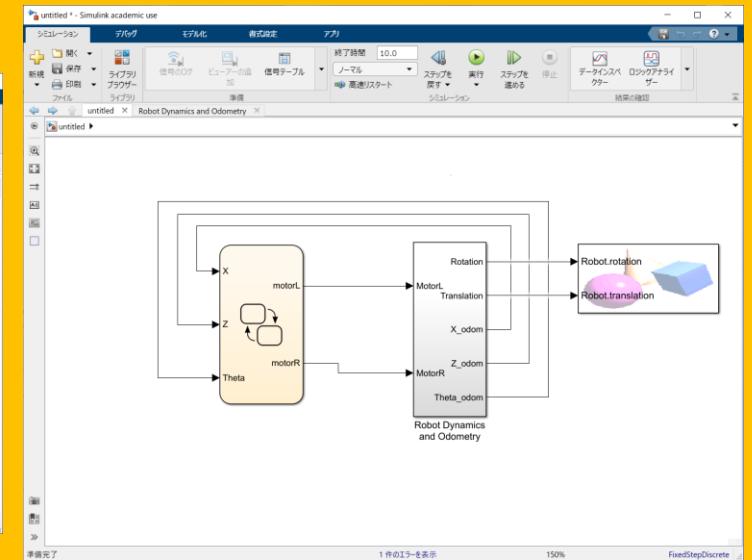
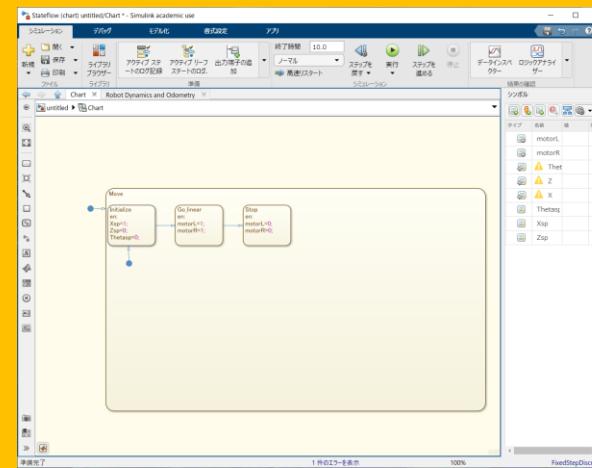
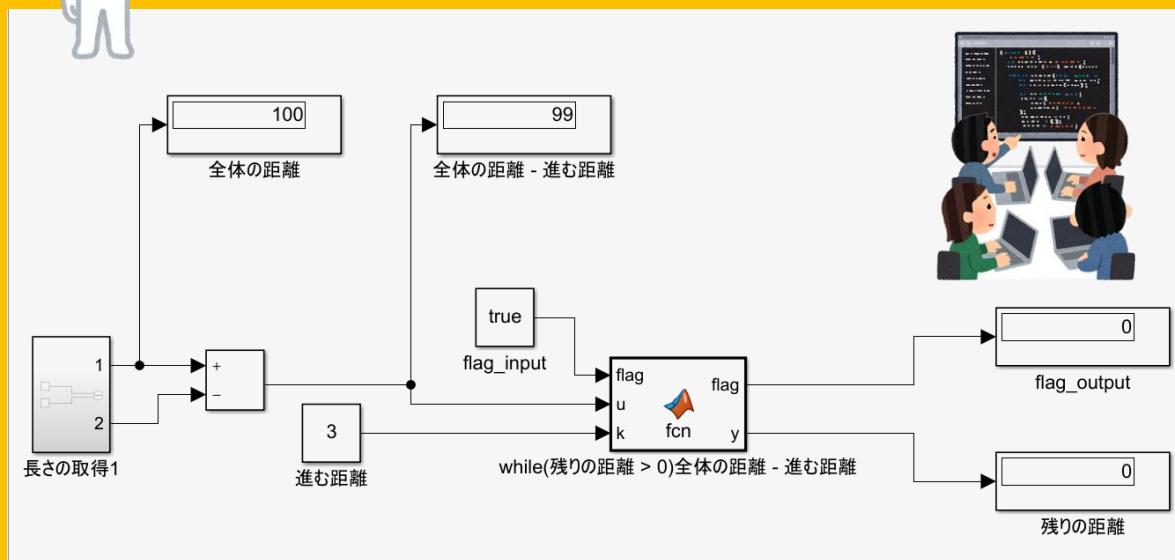


設計開始：UMLで設計



設計→プログラミング→シミュレーション：パートごとに、各担当で分担して設計、処理を連結

→ Simulink Coder™を利用して、Cコード生成、モデルを作成中!!



MATLAB®を使用してみて：

- ★ 難解なプログラム文法を理解せずともある程度処理内容を理解し学習できました。
- ★ 特に、Simulink®においては、ブロック間の接続を直感的にでき、要求に対する処理への理解が深まりました。その点、拡張性にも優れていてそれでいて目立ったエラーもなく、ストレスフリーな開発ができたのが良かったです。
- ★ Simulink®を用いたモデル作成が自分にとっては新しく面白かった。
- ★ シミュレーション環境とCコーダーで吐き出したものとの互換性を理解するのは難しかったが面白かった。
- ★ MATLAB®言語の学習が苦勞していたが面白い。
- ★ 数字識別、エッジ処理、グレースケールなどを学び精度を上げれることを理解できて面白かった。
- ★ クラスタ分析の種類を理解できて、楽しかった。